

学校だより

4月号

一中の桜並木

令和7年4月9日

「教育目標」

考える人 思いやりのある人
助け合う人 成しとげる人



連雀学園三鷹市立第一中学校

校長 宮城 洋之



令和7年度 第79回入学式 「式辞」(抄)

校長 宮城 洋之

第一中学校の教育目標には「考える人」「思いやりのある人」「助け合う人」「成し遂げる人」という4つの人の姿が示されています。その中でも特に力を入れているのが「考える人になる」「考える力をつける」という目標です。

本校入学の日にあたり、新入生の皆さんにも、まず身に付けてほしい「考える力」があります。皆さんはもう一中生ですから、少し難しいこともあえて話します。

皆さんの中には、日常的にインターネットで調べものをしたり、SNSを利用したりしている人がいると思います。たとえば、自分の好きなキャラクターについてネット検索をすると、その後、そのキャラクターに関連する商品の広告が表示されるようになるといった経験があるのではないのでしょうか。

これは「フィルターバブル」と呼ばれていて、みなさんの検索履歴に応じて、興味がありそうな情報を表示する仕組みになっています。これはとても便利な機能なのですが、よく考えてみると、自分の好みに合った情報だけが優先的に提供されるので、自分と異なる意見や自分が知らない新しい情報に接するチャンスが少なくなっていくこととなります。SNSでも、自分と同じような考えをもつ人々との交流が密になっていくことで、自分たちの意見や価値観が絶対だと思い込んでしまうという危険性が指摘されています。

「自分たちの考えは100%正しい」ということは、「自分たちと異なる考えはすべて間違っている」ということとなります。こうした偏った見方・考え方は、人と人との対立や分断を生み出します。大げさに聞こえるかもしれませんが、今、世界で起きている様々な対立の根っこにある問題も同じなのです。

一つの見方・考え方だけに固まってしまうのではなく、物事を別の視点、別の角度からも柔軟に幅広く見ることができる力、それが一中で身に付けていく「考える力」であり、これからの社会を生きていくためにも必要な力なのです。

第一中学校は都内でも有数の大規模校です。生徒数は三鷹市内の最も小さい中学校と比べて3倍にもなります。それだけ多くの、そして様々な仲間が皆さんの周りにいます。本校に入学したということは、自分にはない多様な視点、自分とは異なる多様な感性と出会い、考える力を身に付けるチャンスを手にしたということなのです。ぜひ、このチャンスを生かしてください。

それでは、メッセージの最後に、一つ問題を出してみることにします。

今、皆さんはちょっと緊張した気持ちでこの場に座っていると思います。どんな中学校生活が始まるのか、楽しみな人も不安な人もいるでしょう。

では、視点を変えて別の立場からも考えてみましょう。

1、2階の保護者席からは、今、一中のブレザーを身に着けた皆さんの後姿が見えます。これまで皆さんの成長をずっと見守り続けてきたご家族は、今、どんな思いで皆さんの姿を見つめているのでしょうか。そして、その思いに皆さんはどうこたえていきますか。

これが、中学校最初の問いです。3年後の答え合わせを楽しみにしています。

入学おめでとう！